

科目名	デッサン基礎A								年度	2025
英語科目名									学期	前期
学科・学年	マンガ・アニメーション科四年制 1 年次	必／選	必	時間数	120	単位数	4	種別※	実習	
担当教員	伊藤泰雅、岩崎拓也、伊東明日香、青木聖吾、藤田貴也			教員の実務経験	無	実務経験の職種		画家		
【科目の目的】										
基礎的な描画技法を学び、対象物の正確な描写(構図、明暗の諧調、質感、量感、遠近感など)ができるようになること										
【科目の概要】										
基礎的な描画技法などを学び、描画力を高めます。										
【到達目標】										
デッサンの基本的要素(構図、明暗の階調、質感、量感、遠近感など)を理解する。また、自分の絵を客観的に見られるようにするとともに、ものを見る力(観察眼)を養うことで同様に自身の作品に反映させることができるようになる。水彩色鉛筆などの水彩画材を使用し、鉛筆デッサンに共通する技術を習得する。各色域が起こす視覚現象や効果について理解し、配色について考えることができる。フィールドワークでは季節や時間帯の変化が起こす現象を観察し、理解することができる。										
【授業の注意点】										
授業開始時に実技のポイントなどを説明するので遅刻厳禁。クロッキー帳、鉛筆、練り消しゴム、色鉛筆、コンテは毎回持参すること。課題作品はできるだけ授業時間内で仕上げるように留意すること										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	構図を決め、あたりを付け、形をとる事が優れている		構図を決め、あたりを付け、形をとる事が出来ている		構図を決め、あたりを付け、形をとる事が出来ていない					
到達目標 B	鉛筆の硬さ、柔らかさを理解し、質感や明度に合わせて使い分けが優れている		鉛筆の硬さ、柔らかさを理解し、質感や明度に合わせて使い分けを理解している		鉛筆の硬さ、柔らかさを理解し、質感や明度に合わせて使い分けが出来ていない					
到達目標 C	石膏や、ガラス等質感を理解し、質感の表現が優れている		石膏や、ガラス等質感を理解し、質感の表現が出来ている		石膏や、ガラス等質感を理解し、質感の表現が不足している					
到達目標 D	グラデーション、陰影の表現の理解し、描く事が出来る		グラデーション、陰影の表現の理解が出来ている		グラデーション、陰影の表現の理解が不足している					
到達目標 E	スケールを使用し、形や大きさを正確に捉える能力が優れている		スケールを使用し、形や大きさを正確に捉える事が出来ている		スケールを使用し、形や大きさを正確に捉える能力が十分ではない					
【教科書】										
参考書・参考資料等は授業中に指示する										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
授業内容の理解度をレポートを提出して評価する。また積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		デッサン基礎A				年度	2025
英語表記						学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	グレースケール	グラデーションを理解する		濃淡の付け方	様々な濃さの鉛筆を区別できる	2	
				鉛筆の選び方	デッサンの描画方法の習得		
2	立方体石膏の形態、陰影	立方体を描けるようになる		立方体の形態	立方体の形態、陰影を的確に描けるようになる	2	
				立方体の陰影	パースペクティブを理解する		
3	コンクリートブロックの形態、陰影、質感	コンクリートブロックを描けるようになる		ブロックの形態	コンクリートブロックを的確に描けるようになる	2	
				ブロックの陰影	濃淡による陰影、質感を描けるようになる		
				ブロックの質感			
4	球体石膏の形態、陰影	球体を描けるようになる		球体の形態	球体の形態、陰影を的確に描けるようになる	2	
				球体の陰影	パースペクティブを理解する		
5	円柱石膏の形態、陰影	円柱を描けるようになる		円柱の形態	円柱の形態、陰影を的確に描けるようになる	2	
				円柱の陰影	パースペクティブを理解する		
6	空き缶の形態、陰影、固有色、質感、レタリング	金属(光の反射)を表現できるようになる		空き缶の形態	空き缶(金属)を的確に描けるようになる	2	
				空き缶の陰影	濃淡による陰影、模様を描けるようになる		
				金属の質感	金属特有の描き方、質感を理解する		
7	ティッシュ箱の形態、陰影、固有色、質感、レタリング	ティッシュ箱を描けるようになる		ティッシュ箱の形態	長方形を立体的に描けるようになる	2	
				ティッシュ箱の陰影	濃淡による陰影、模様を描けるようになる		
				レタリングの習得			
8	カボチャの形態、陰影、固有色、質感 1	カボチャを描けるようになる		カボチャの形態	カボチャ(果物)を的確に描けるようになる	2	
				カボチャの陰影	濃淡による陰影、模様を描けるようになる		
				有彩色の表現			
9	カボチャの形態、陰影、固有色、質感 2	カボチャを描けるようになる		カボチャの形態	立体を考えながら完成させる	2	
				カボチャの陰影			
				有彩色の表現			
10	ウィングラスの形態、質感、レタリング	ガラス製品(光の屈折)を表現できるようになる		ウィングラスの形態	ウィングラス(ガラス製品)を的確に描けるようになる	2	
				ウィングラスの陰影	濃淡による陰影、模様を描けるようになる		
				ガラス製品の質感	ガラス製品特有の描き方、質感を理解する		
11	人体(手)の骨格、筋肉、構造	人体の手を描けるようになる		手の骨格	人体の手を的確に描けるようになる	2	
				手の筋肉	骨格や筋肉の構造を理解する		
				手の構造			
12	人体(目/鼻/口)の骨格、筋肉、構造	人体の目/鼻/口を描けるようになる		顔の骨格	顔パーツを的確に描けるようになる	2	
				顔の筋肉	骨格や筋肉の構造を理解する		
				顔の構造			
13	自画像を描く	人物の自画像を描けるようになる		人間の顔を描く	人体を精密に描くことが出来るようになる	2	
				特徴を捉える	人物の特徴を観察して描写ができる		
					フェイスプロポーションを理解する		
14	自画像を描く	人物の自画像を描けるようになる		人間の顔を描く	人物の特徴を観察し、立体を考えながら完成させる	2	
				特徴を捉える			
15	まとめ	各講義の復習と補講		1－14回までの復習		2	
				補講	各講義の補講を行い問題点を解決する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等